

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ大学院

## 文化文学コース 年間予定表

- 1 テーマ: 「『百人一首』の歌人たち」  
百人一首は、奈良時代から鎌倉時代までの人々が登場する歴史歌ものがたりと言っても良いでしょう。その一人一人に注目しても面白いし、親子や歌仲間、友人で歌を採られている人々もいます。それにまつわるエピソードや、人々の関係性やネットワークに焦点をあてて読み解くのも興味深いでしょう。
- 2 日時: 原則として、各回 木曜日 10時から11時30分 まで  
※最終回 10時から12時まで
- 3 場所: グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか
- 4 講師: 古典文学研究家 やまだ きみこ 山田 喜美子 先生
- 5 日程・内容

① 5月16日	オリエンテーション	オリエンテーション、講義:「百人一首」の概説～成立と出典～ 全体の説明／受講者全員の自己紹介／講師による講義
② 5月30日	講義①	講義テーマ: 1～100番の歴史の流れと主な歌人
③ 6月6日	講義②	講義テーマ: 歌語(和歌の用語)と作歌手法とその例歌
④ 6月20日	講義③	講義テーマ: 女性歌人、特に紫式部と清少納言
⑤ 7月4日	講義④	講義テーマ: 歌人のコミュニティと歌の家
⑥ 7月18日	講義⑤	講義テーマ: 「百人一首」の普及とカルタ グループ決め(個人研究も可)
⑦ 9月19日	グループ学習①	グループ、個人研究 夏休みの成果を発表
⑧ 10月3日	グループ学習②	グループ、個人研究
⑨ 10月17日	グループ学習③	グループ、個人研究
⑩ 11月7日	グループ学習④	グループ、個人研究
⑪ 12月19日	グループ学習⑤	グループ、個人研究 発表会レジュメ提出
⑫ 1月16日	グループ学習⑥	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月23日	卒業研究発表会	「卒業研究発表会」 グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ大学院

## 社会生活コース 年間予定表

1 テーマ:

### 「激甚化する水災害に適應するには」

近年、地球温暖化の進行に伴い、集中豪雨が発生しやすくなり、水災害が激甚化してきています。河川整備は明治時代より長年にわたって続けられてきているにもかかわらず水災害が増えているということは、新たな方向性に切り替える時期に来ています。そこで本講義では、これまでの河川整備を振り返り、近年提唱されている新たな「流域治水」を紹介し、さらにその先を行く「水と共生する社会」について議論します。

2 日時:

原則として、各回 金曜日 14時から15時30分 まで

※最終回 14時から16時まで

3 場所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講師:

東京都立大学 都市環境学部 教授 よこやま かつひで 横山 勝英 先生

5 日程・内容

① 5月17日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介
② 5月31日	講義①	講義テーマ：日本の治水史
③ 6月14日	講義②	講義テーマ：近年の水災害の特徴
④ 6月28日	講義③	講義テーマ：現在の水害対策〈流域治水、ダム再開発〉
⑤ 7月12日	フィールドワーク①	見学先：荒川下流河川事務所（仮）
⑥ 7月26日	講義④	講義テーマ：将来の水害対策〈江戸時代の治水に学ぶ〉 研究テーマ説明とグループ決め（個人研究も可）
⑦ 9月13日	グループ学習①	ミニ講義：世界の水資源 グループ、個人研究
⑧ 9月27日	フィールドワーク②	見学先：石神井川（仮）
⑨ 10月18日	グループ学習②	ミニ講義：森づくりと保水力 グループ、個人研究
⑩ 11月8日	グループ学習③	ミニ講義：森づくりと脱炭素 グループ、個人研究
⑪ 11月29日	グループ学習④	ミニ講義：ダムの水質対策 発表会レジュメ提出
⑫ 12月13日	グループ学習⑤	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月10日	卒業研究発表会	「卒業研究発表会」 グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

※ミニ講義は20分程度です。

# 令和6年度 板橋グリーンカレッジ大学院

## 健康福祉コース 年間予定表

1 テーマ:

### 「健康に長生きできる住まいと住まい方」

世界保健機関 WHO は、2018 年 11 月に、住まいと健康のガイドラインを公表し、住まいの冬季最低室温 18℃以上、新築・改修時の断熱工事、夏季室内熱中症対策などを各国に勧告しました。さらに、「健康日本 21(第三次)」(2023 年 5 月厚生労働省告示)に、建築・住宅等の分野における取組と積極的に連携することが必要と明記されました。住宅環境に起因する「生活環境病」による不本意な老後を回避する住まいと住まい方を考えます。

2 日時:

原則として、各回水曜日 14 時 00 分から 15 時 30 分 まで

※最終回 14 時 00 分から 16 時 00 分まで

3 場所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講師:

慶應義塾大学 名誉教授 いかが としはる 伊香賀 俊治 先生

5 日程・内容

① 5月8日	オリエンテーション	<b>オリエンテーション</b> 全体の説明／受講者全員の自己紹介
② 5月29日	講義①	講義テーマ：生活環境病による不本意な老後を回避する住まいと住まい方①
③ 6月5日	講義②	講義テーマ：生活環境病による不本意な老後を回避する住まいと住まい方②
④ 6月19日	講義③	講義テーマ：生活環境病による不本意な老後を回避する住まいと住まい方③
⑤ 7月3日	講義④	講義テーマ：生活環境病による不本意な老後を回避する住まいと住まい方④
⑥ 7月17日	講義⑤	<b>卒業研究で行いたいことの発表とグループ決め</b> 各自行いたいことを発表し、グループ決めを行う。(個人研究も可)
⑦ 8月28日	グループ学習①	<b>グループ、個人研究</b> グループ(個人)ごとにテーマを詳しく決定。テーマや役割分担などの話し合い。次回への宿題、スケジュールの整理。
⑧ 10月2日	グループ学習②	<b>グループ、個人研究</b> 調べた内容を持ち寄り、意見交換を行う。次回への宿題整理。
⑨ 11月6日	グループ学習③	<b>グループ、個人研究</b> 調べた内容を持ち寄り情報共有。意見交換。進捗状況の確認。
⑩ 11月27日	グループ学習④	<b>グループ、個人研究</b> 調べた内容をまとめる。発表のアウトラインを作成。
⑪ 12月18日	グループ学習⑤	<b>グループ、個人研究</b> プレゼンテーションの準備、作成。発表内容のブラッシュアップ。
⑫ 1月15日	グループ学習⑥	<b>卒業研究発表会の練習</b> 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑬ 1月29日	卒業研究発表会	<b>「卒業研究発表会」</b> グループごとの成果発表と講師による講評・卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。